

六角川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～国、県、市等が連携し、逃げ遅れゼロと社会経済被害の最小化を目指す～

● 六角川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 流域の中心である武雄市街部を流れる六角川、小城市街部を流れる牛津川等での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削、河道拡幅、遊水地整備等を実施する。また、県管理区間においても河道拡幅、護岸整備、橋梁・堰改築、樋管整備等を実施する。あわせてクリーク等の有効活用や利水ダムの事前放流等の流域における対策を行い、住まい方の誘導等による水害に強い地域づくり、防災教育や情報発信の強化、浸水リスク情報の提供等のソフト対策を実施し、流域内の被害軽減を目指す。

【中期】 六角川上流部の洪水調整池事業の継続、牛津川中上流部に新たな洪水調節施設を整備する。また、雨水貯留施設の整備、ため池等既存施設の補強・有効活用やソフト対策を実施しながら被害の最小化を目指す。

【中長期】 牛津川上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削等を実施するとともに、流域における対策やソフト対策を継続して行うことで、流域全体の安全度向上を図る。

■ 河川対策 全体事業費 約831億円
■ 砂防対策 約10億円
■ 海岸対策 約8億円

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ・減らすための対策	河道掘削、河道拡幅、引堤	武雄河川事務所 佐賀県	六角川中流、牛津川下流、武雄川等	激特事業、大規模災害 関連事業完了	牛津川上流
	遊水地整備	武雄河川事務所	牛津川遊水地	牛津川中上流遊水地	
			六角川洪水調整池		
	橋梁・堰改築	佐賀県	橋梁・堰改築		
	砂防対策 海岸対策	佐賀県	砂防対策		
			海岸対策		
	流出抑制対策	佐賀県、関係市町 森林管理署、森林 整備センター	クリーク等の農業水利施設の整備及び有効活用	雨水貯留施設の整備等	
			森林整備・治山対策		
	内水被害軽減対策	武雄河川事務所 佐賀県、関係市町	武雄・北方地区のポンプ場整備		
			情報発信システム等の整備(リアルタイム情報、浸水予測等)		
既存施設の有効活用	佐賀県、関係市町	利水ダムの事前放流			
		ため池の補強・有効活用 等			
被害対象を減少させるための対策	浸水被害軽減対策	佐賀県、関係市町	住まい方の誘導等による水害に強い地域づくり		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	武雄河川事務所 佐賀県、関係市町	報道機関と連携した情報発信の強化、・危険物管理施設への浸水リスク情報の提供		
			マイ・タイムラインづくり、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練の促進		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくりの推進	武雄河川事務所 佐賀県	多様な河川環境の保全・創出		多様な河川環境の保全・創出
			汽水ファンの創出		
			遊水地による湿地環境・生態系ネットワークの創出		
	多様な生態系の保全	佐賀県	多様な生態系の保全		

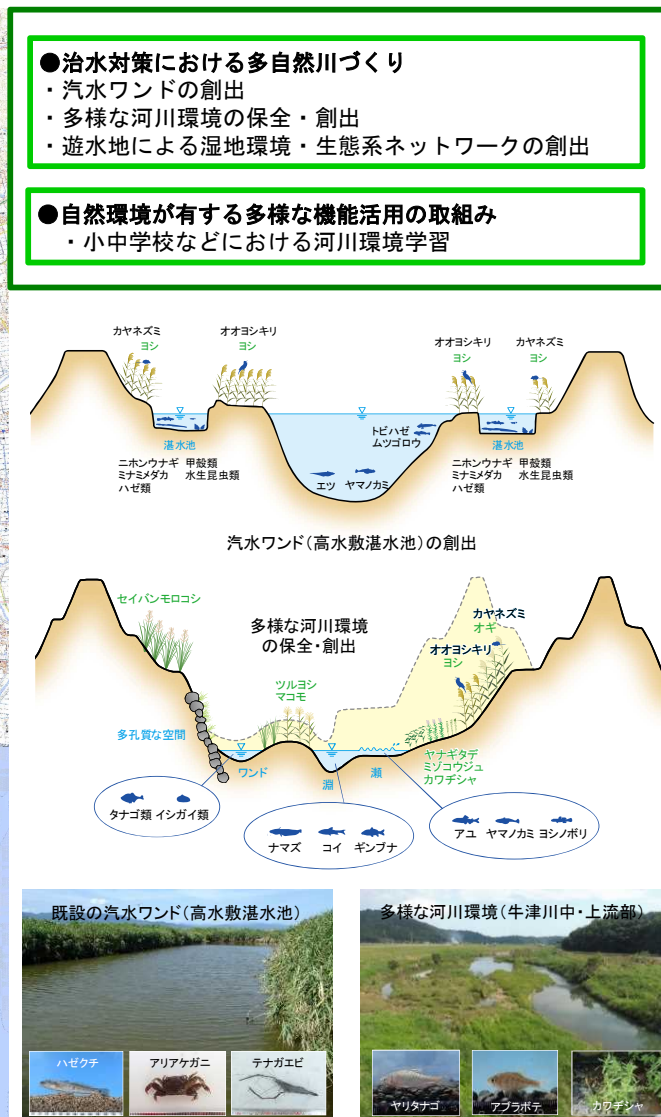
気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～有明海流入河川特有の汽水環境と中・上流部の多様な河川環境の保全・創出～

○六角川は、干満差が最大6mとなる有明海の潮汐の影響を受け、河口から約29kmに及ぶ長い汽水域を形成しています。特に六角川河口部を含む有明海は、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」（環境省）に指定されており、良好な干潟環境が形成されています。支川牛津川は、八幡岳県立自然公園や天山県立自然公園等の豊かな自然環境を有する源流部から山間地を流下し、中・上流部は瀬・淵・ワンドやまとまった河畔林が分布することで、変化に富んだ多様な河川環境が形成されています。

○六角川や牛津川の重要な環境である干潟、ヨシ原、湿地環境、江湖、汽水ワンド（高水敷湛水池）に加え、瀬・淵・ワンド・水際植生等の多様な河川環境を保全・創出するなど、今後概ね10年の期間において、地域と連携・協働しながら自然環境の有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

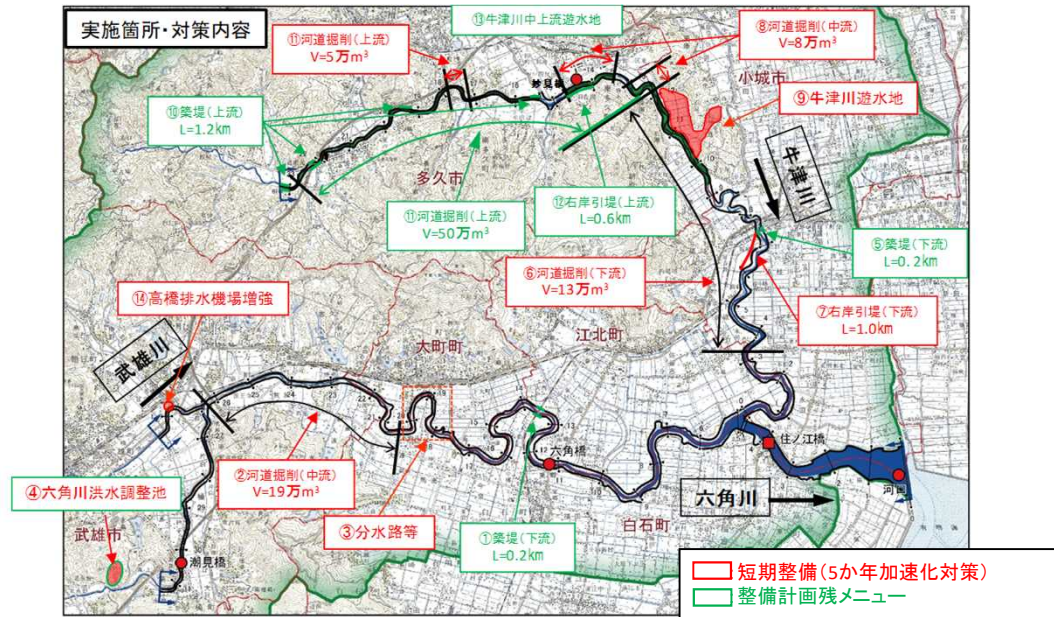


六角川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～国、県、市等が連携し、逃げ遅れゼロと社会経済被害の最小化を目指す～

短期整備(5か年加速化対策)効果: 約35% → 約50%】

激特事業（河道掘削、牛津川遊水地等）の完了に伴い、令和元年8月及び令和3年8月洪水規模の洪水に対して、堤防からの越水や排水ポンプの運転調整を回避することが可能。

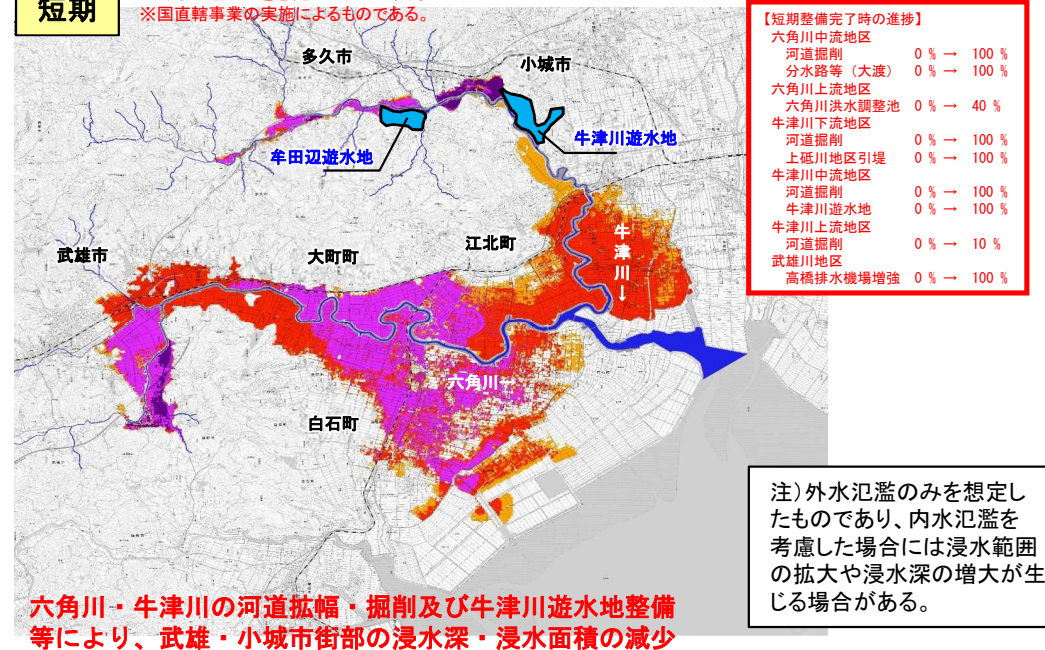


区分	区間	対策内容	工程		
			短期 (R1～R7年度)	中期 (R8～R17年度)	長期 (R18～R31年度)
冠水をできるだけ防ぐ・減らすための対策	六角川下流地区	安全度	1/5～1/10	1/10～1/90	1/90～1/90
		①築堤(JR)		100%	
	六角川中流地区	②河道掘削	100%		
		③分水路等(大渡)	40%		
	六角川上流地区	④六角川洪水調整池	100%		
	牛津川下流地区	安全度	1/10～1/50	1/50～1/50	1/50～1/90
		⑤築堤(JR)		100%	
		⑥河道掘削	100%		
	牛津川中流地区	⑦引堤(上砥川)	100%		
		⑧河道掘削	100%		
短期整備完了時の進捗	牛津川上流地区	⑨牛津川遊水地	100%		
		⑩築堤			100%
		⑪河道掘削	10%		100%
		⑫引堤(妙見橋上流)		100%	
武雄川地区		⑬牛津川中上流遊水地		100%	100%
		⑭高橋排水機場増強	100%		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

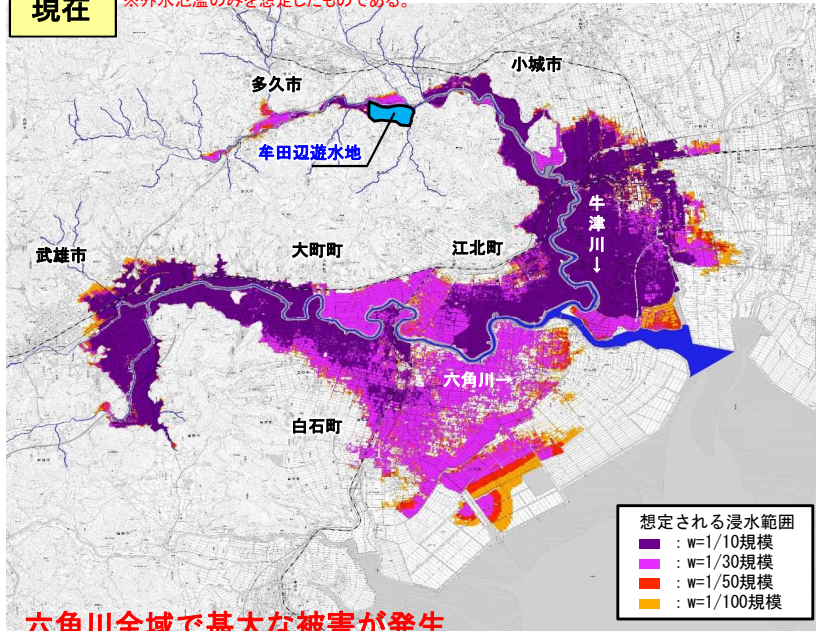
短期

※外水氾濫のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



現在

※外水氾濫のみを想定したものである。



六角川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～国、県、市等が連携し、逃げ遅れゼロと社会経済被害の最小化を目指す～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：50%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



6市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 **4箇所**

（令和4年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 **2施設**

（令和4年度完成分）
※施工中 5施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 **8河川**

（令和4年9月末時点）

※一部、令和4年9月末時点

内水浸水想定
区域 **0団体**

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



洪水 **221施設**

避難確保
計画 土砂 **63施設**

（令和4年9月末時点）

個別避難計画 **6市町村**

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【武雄河川事務所】 ●河道掘削状況（牛津川右岸8k600付近）



【佐賀県】

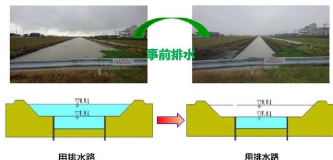
●河道拡幅（武雄川4/900付近）



●河道拡幅状況（山犬原川0k900付近）



【白石町】 クリークを活用した雨水貯留容量の確保
洪水被害を軽減するため、大雨時の一時貯留断面を確保



【主な取組メニュー】

◇河道水位を低下させるための取組

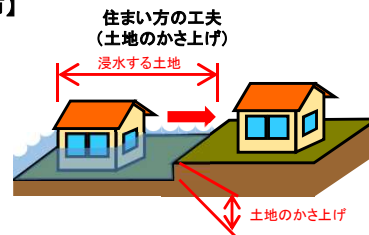
・洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進 等

◇支川の流出抑制・氾濫抑制の取組

・クリークを活用した雨水貯留容量の確保：
農業用水路の水位を事前に低下し雨水貯留容量を確保

被害対象を減少させるための対策

【武雄市】

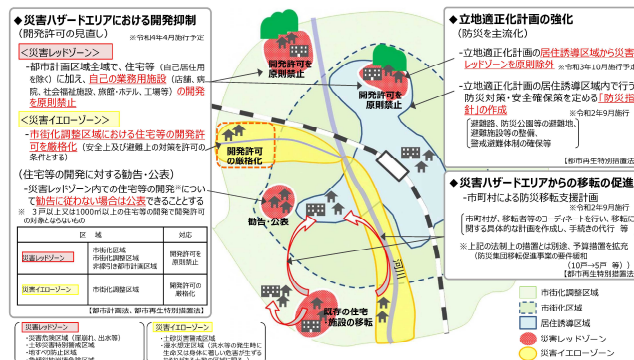


【主な取組メニュー】

◇住まい方の工夫に関する取組

・住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの推進：
浸水に備えるための土地や建物のかさ上げ、高床化、止水設備の設置、市内移転などに対する
助成制度を創設

◇立地適正化計画の策定



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【佐賀県】住民への周知
（防災啓発映像）



【武雄市】 災害情報等の発信
（独自の防災アプリを構築）



【主な取組メニュー】

◇災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組

・ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信の強化：
独自の防災アプリや防災無線システム、GISを活用した防災システムを構築

◇浸水リスク情報の周知

・住民への周知：
防災啓発映像を作成し、「ハザードマップを用いて住んでいるところの災害リスク等を確認する」ことの啓発・周知を実施